

佐賀県ヨットハーバー

令和 6 年度実施報告書

運営事業体 SAGA MIRAI プロジェクト J V

提出年月日：令和 7 年 6 月 30 日

目 次

1. 管理運営の基本方針
2. 管理運営組織の体制
3. 年間の事業及びスケジュール
4. 提案型事業について
5. 管理運営業務に関する収支報告

1. 管理運営の基本方針

佐賀県ヨットハーバーは、開設から36年間学生ヨット競技の強化や地域の方のヨット教室など、県民の海洋性スポーツ・レクリエーション施設としての役割を果たしてまいりました。一方で、SSP構想とKMAP（唐津マリンアクティビティ構想）の新たな取組みが始まり、公共施設の在り方について変化がもたらされております。当JVでは佐賀県の取組みに沿った運営をおこなうとともに、海洋性スポーツ・レクリエーションの振興、佐賀県の地域活性化・観光促進への取組み、地域と連携した海洋・地域創生文化の次世代への継承を行うため、下記コンセプトで運営を行ってまいりました。

「SAGA MIRAI プロジェクト」

広く開かれた安全で安心なハーバー運営による地域の活性化と観光振興

【管理運営ポリシー】 Management Policy

1. 海洋性スポーツ・レクリエーションの振興の場としてだけではなく、西の浜ビーチを活用し県民の様々な活動を体現できる場として、地域と連携した親水性事業、SDGs活動、災害学習事業を行います。
2. 県民がくつろぎ、様々な体現が出来る場所を次世代に継承していくため、地域の組合や自治体と連携しながら子供たちの「育ちと学び」の社会インフラとして活動します。
3. 地域の魅力を発見し地域振興と観光促進を図るため、エコツーリズムを推進し環境に配慮した持続可能な都市環境を次世代へ継承します。

【6つの運営コミットメント】 Management Commitment

1. 安全・安心・快適な公共施設としての役割 【公共性】

- ☐ 多様性を尊重し、県民の様々な活動が実現できる地域密着型公共施設
- ☐ 誰もが利用しやすいハーバーづくりと環境保全の取組み

2. 地域と連携し、共に発展するハーバー 【地域・観光】

- ☐ 佐賀県や唐津市の地元地域と連携したKMAP（唐津マリンアクティビティ構想）の取組み
- ☐ 唐津里浜づくり推進協議会や佐賀玄海漁業協同をはじめとする地域との連携

3. 専門企業の連携と効率的なハーバー運営 【専門性・効率化】

- ☐ 専門企業の連合により、完成度・実現性の高い運営を行います。
- ☐ プロフェッショナルな技術を活用し、施設の長寿命化を図るハーバー運営を行います。

4. 海洋性スポーツ・レクリエーションの振興 【海洋性スポーツ・レクリエーション】

- ☐ 海洋性スポーツの底辺の拡大
- ☐ 佐賀県ヨット連盟・佐賀県スポーツ協会・唐津市ヨット連盟と連携したSSP構想の推進とセーリング選手の強化・ジュニアの育成を行い、「SAGA2024」の成功への協力

5. 危機管理意識と防災への取組み 【防災】

- ☐ 唐津市・唐津海上保安部・唐津市漁港と連携し、安心安全を提供するハーバー運営
- ☐ 防災の技術やノウハウを活かした次世代への防災学習による災害に強い地域活動

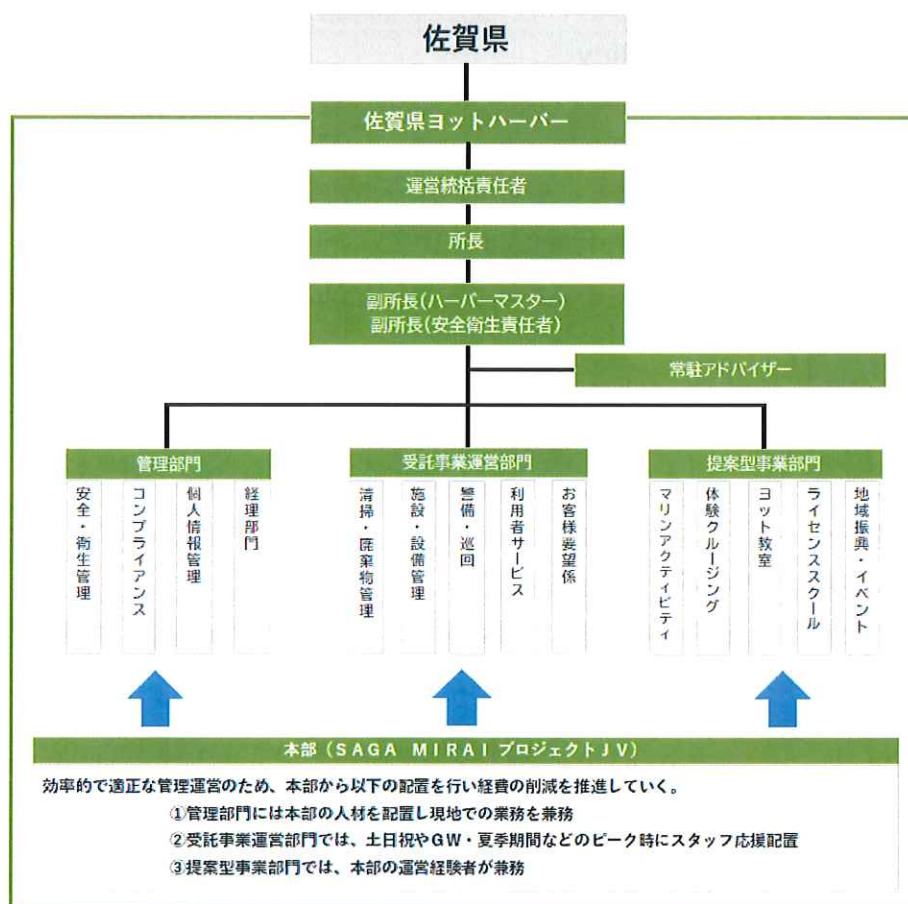
6. 持続可能な社会実現への環境への取組み 【環境】

- ☐ 提案型事業を通じて佐賀県の水辺環境や自然環境などの問題へ積極的な取り組み
- ☐ 従業員のワークライフバランスへの配慮を行い、健康で豊かな生活と健全な職場環境の実現

2. 管理運営組織の体制

ヨットハーバーの管理運営においては、県との緊密な協力・連携を図りながら、利用者の視点に立ち利用しやすく親しみの持てる運営を実施しました。また、ヨットハーバーはヨット競技が開催可能な県内唯一の施設であることから、ヨット競技関係団体との緊密な連絡・調整を図るとともに、令和 6 年度に開催された SAGA2024（佐賀国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会）に向けた競技力向上の支援及び SSP 構想の推進に向けた取組を行いました。

1) 運営体制



2) スタッフ配置

◆運営統括責任者（場長）

運営統括責任者には、ハーバー全体を統括するマネジメントスキルとトレーニングスキルを持ち、自治体や企業との多くの事業実績やコネクションを持った業界歴 30 年以上の経験者を配置し、佐賀県や佐賀県ヨット連盟、地元マリン企業などとの連携とハーバーの利用促進を図れた。

◆所長

教育プログラム受入増の対応やハーバー施設維持管理の対応強化のため、マリンスポーツインストラクター、土木 1 級施工管理技士および建設業経理士 2 級の有資格者で公共施設管理経験 20 年以上の経験者を配置し、体制強化を図った。

◆副所長(ハーバースター)

円滑で安全なハーバーの運営とヨット競技への協力ため、船舶免許の有資格者でヨット競技指導経験者を配置。利用者やヨット競技の学生からの相談等への対応を行うほか、佐賀県高等学校体育連盟の大会等でヨット競技役員を派遣するなど協力等を行った。

◆副所長

円滑で安全なハーバー運営のため、佐賀県ヨットハーバーの管理運営経験者を配置。佐賀県や地元各教育機関、教育旅行を担う玄海交流社との綿密な連携を図りハーバーの利用増進を図った。

◆安全衛生管理者

ハーバー利用者やスタッフの安全管理、佐賀県ヨット連盟と綿密な連携を図るため、ヨット競技に精通し佐賀県ヨット連盟推薦者を配置し、ヨット競技やマリン体験を安全に事故なく遂行した。

◆常駐アドバイザー

佐賀県のヨット競技強化とSSP構想推進のため、日本セーリング連盟の理事として長年セーリング業界に貢献してきた [REDACTED] を常駐アドバイザーとして引き続き配置。

ヨット競技者の強化だけでなく、佐賀県ヨット連盟や佐賀県スポーツ協会等の団体、ハーバーと利用者の間に立ち、安全で安心な公平性のある施設運営を行った。

3) スタッフの雇用形態、人数及び勤務形態

配置職員表

役職	氏名	職員数	常勤	非常勤	担当事務内容
運営統括責任者(場長)					全体の統括責任者
所長					ヨットハーバー運営管理責任者
副所長(ハーバースター)					ヨットハーバー運営管理副責任者
副所長					ヨットハーバー運営管理副責任者
安全衛生責任者					安全衛生責任者
常駐アドバイザー					セーリング指導者・ヨット関連団体との連携
財務・情報管理責任者					利用料金収受・経理・契約情報・個人情報管理
地域連携担当					地域振興や交流イベントの企画調整
お客様要望係					お客様の声の反映・地域や利用者の要望収集
施設管理責任者					施設維持管理
サービススタッフ					利用者サービス、簡易補修作業
					浮桟橋サービス・簡易作業
内務スタッフ					利用者サービス、事務作業
					浮桟橋サービス、事務作業

4) 営業時間

SAGA2024 のセーリング競技強化の観点から、佐賀県ヨット連盟等団体と協議し、開場時間について下記時間内で要望に沿った柔軟な対応を行った。

◆開場時間 基本的な営業時間 4月～10月 8:00～22:00 (14時間)

11月～3月 9:00～19:00 (10時間)

当JVの対応時間 6:00～23:00 (この時間内で要望に沿った時間対応を実施)

◆休業日 毎週火曜日及び年末年始 (12月29日～1月3日)

5) スタッフに対する研修の実施

これまでの経験と実績に基づく安全管理教育を中心に、海のプロフェッショナルとして知識と技術を持ち合わせながら顧客満足度の高いサービスを提供できるよう以下の教育訓練を実施した。

①接客研修

□接客・サービス研修 (ハーバースタッフ、時期: 4月、6月、7月)

運営開始時及び新規雇用時に接客・サービス研修を行いました。

□クレーム対応・不審者対応研修 (管理者およびスタッフ・随時)

グループ施設内で発生したクレームや不審者発見時の対応など、QMS活動として発生事案・原因・対応等を所内スタッフで共有し、継続的改善を図っております。

□OJT研修 (管理者およびスタッフ・随時)

座学では体得しにくいお客様サービスを、経験スタッフが講師となり教育プログラム受入れや出港指導などオンザジョブトレーニング (OJT) 研修を随時行いました。

□外国語対応研修 (管理者およびスタッフ・随時)

翻訳機能アプリケーションやスマホ端末などの情報共有を行い、実際ダウンロードしての体験を実施した。



②安全衛生教育

□新規入場者教育 (対象: ハーバースタッフ、時期: 4月、6月、7月)

スタッフの作業安全と利用者の安全管理のため、管理運営基準や出港基準などの教育を運営開始時および新規雇用時に実施しました。

参加: 4月 (運営開始メンバー)、(6月)、(7月)

□マリーナ安全会議 (対象: 管理者およびハーバースタッフ、時期: 毎月)

各月にヒヤリハットや危険予知活動、行事予定を共有するため、佐賀県との定例会の日に管理者・スタッフにて情報共有を実施した。

④災害対策訓練

- 災害対策訓練（対象：管理者およびハーバースタッフ、時期：2月）

災害時の避難誘導・通報訓練を法令に則り管理者およびスタッフにて実施しました。



- 運行管理者研修会（対象：運行管理者）

不定期航路事業における運行管理責任者・運行管理者対象の国土交通省主催の研修会だが、当ハーバーのヨット教室・マリンアクティビティ体験は不定期航路事業対象ではないため未実施。

- 地域を巻き込んだ防災訓練（対象：管理者およびハーバースタッフ、時期：12月）

唐津消防署から講師を依頼し、JV 管理者・スタッフ、佐賀県ヨット連盟や学生、その両親が参加してAED使用や心肺蘇生について体験を行った。

（上述「救急救命講習」と同じ）

⑤ノーマライゼーション研修

- 視覚聴覚障がい者対応研修（対象：ハーバースタッフ、時期：3月）

聴覚障がいを持つ方がヨットハーバーを利用するにあたり、施設や行動での注意点、留意点を確認。

- 障がい者スポーツ講習会（対象：管理者およびハーバースタッフ）

当ヨットハーバーのハンザを活用したパラセーリング体験会の実施などのため、J S A F（公益財団法人日本セーリング連盟）の障害者セーリング推進委員会とコミュニケーションを図っております。

- 補助犬ガイド士養成講座（未実施）

⑥コンプライアンス研修

- コンプライアンス教育（対象：ハーバースタッフ（4、6、7月）、セーリング指導者（7月）

・スタッフ向け：運営開始時、新規入場時にハラスメント、情報セキュリティ、社内規定などを確認。

・指導者向け：選手が安心してスポーツに取り組むことができるよう、ハラスメントを理解し防止することを目的として動画（日本スポーツ協会提供）を視聴しアンケートなどを実施。

- コンプライアンス通信（未実施）

⑦協力会社研修

- 警備員研修（対象：当直者、時期：随時）

通常夜間は機械警備となるため警備員の配置は行いません。大会時の当直があるため宿直スタッフに緊急時対応マニュアルと緊急時連絡体制の確認指導を行いました。

□清掃員教育（対象：清掃員、時期：4月）

施設内の急病人発見時や施設異常発見時に対応できるよう、清掃員に緊急連絡体制による情報伝達（ハーバースターへの第一報）の教育を実施しました。

□提案型事業スタッフ研修（対象：協力会社、時期：随時）

提案型事業はマリンアクティビティ体験がメインとなるので、当JVが定めている安全基準や緊急時連絡体制の教育を実施しました。（対象：[REDACTED]氏ほかKMAP協力スタッフ）

その他教育プログラムを担当する「玄海交流社」へ気象海象によるプログラム変更について昨年度に引き続きレクチャーをしました。

6) ヨットハーバーに関する意見・要望・苦情への対応

日々の業務で得たお客様の要望や、地域の方・関係者の方からのご意見について以下の通り対応しました。

R6年度【利用者からの苦情や要望リスト】

日時	件名	内容	対応	備考（県相談後）
[REDACTED]				

7) ハーバー施設利用の受付業務

①利用の受付

ヨットハーバー利用者から提出される利用許可申請書および施設使用の申込を受付け、佐賀ヨットハーバー管理運営業務仕様書の使用の制限の各項目に該当しないことを確認し、利用の許可、利用料金の徴収、利用料金の減免を行いました。

利用料については、《利用料金表》（別紙-1、別紙-2 参照）を参照。

利用料減免については利用料金表の該当利用者のほか、以下の大会について減免を行った。

- ・西日本ジュニアユースセーリング選手権
- ・佐賀県高校総体ヨット競技大会
- ・セーリングスピリッツ級、国スポウインドサーフィング級九州選手権大会
- ・令和6年度全九州高等学校体育大会 第52回全九州高等学校ヨット競技大会兼全国高等学校総合体育大会ヨット競技九州地区予選会
- ・SAGA MIRAI CAP 2024
- ・SAGA 2024 国民スポーツ大会セーリング競技
- ・佐賀県ヨット新人戦

別紙-1

利 用 料 金 表

佐賀県ヨットハーバー

区分	利用単位	利用料金	減免料金
2 階研修(大) 104.19㎡	午前(9:00～13:00)	4,400	2,200
	午後(13:00～17:00)	4,400	2,200
	終日(9:00～17:00)	8,800	4,400
	超過料金(1時間当たり)	1,650	830
2階研修室(中) 42.67㎡	午前(9:00～13:00)	3,840	1,920
	午後(13:00～17:00)	3,840	1,920
	終日(9:00～17:00)	7,680	3,840
	超過料金(1時間当たり)	1,440	720
3階研修室(小) 40.36㎡	午前(9:00～13:00)	3,080	1,540
	午後(13:00～17:00)	3,080	1,540
	終日(9:00～17:00)	6,160	3,080
	超過料金(1時間当たり)	1,160	580
冷暖房装置	2階研修室(大)	1時間当たり	330
	2階研修室(中)	1時間当たり	220
	3階研修室(小)	1時間当たり	220
浴室	風呂(大人 5 名、大学生以下10名以上)	1人当たり	220
	シャワー(1名から利用可)	1人当たり	110
	シャワー(高校生以下)	1人当たり	50
宿泊	小・中・高・大学生(10名以上)	1人当たり	660
	上記の引率者	1人当たり	1,430
	成人以上の一般利用(5名以上)	1人当たり	1,980
厨房	1日あたり	990	
艇置場	1日当たり	660	330
	1月当たり	8,800	4,400
	1年当たり	88,000	44,000
給水施設	30分	330	
給電施設	1時間	110	
救助艇	半日当たり	2,000	1,000
	1日当たり	4,000	2,000

2024年4月1日

※利用条件

- ・風呂、宿泊施設の利用は原則学生以下は10人以上、成人については5名以上でお願いいたします。
- ・宿泊時の寝具は持ち込みまたはレンタルの紹介とさせていただきます。
レンタル寝具：夏用(5月～9月) 1,500円、冬用(10月～4月) 1,800円
- ・宿泊時のシャワー・風呂は別途徴収させていただきます。
- ・営業目的の利用はお断りする場合がございます。
- ・救助艇については別途燃料代を頂きます。

※減免の対象

- ・佐賀県居住者の就学生(大学生以下)
- ・佐賀県が認定した佐賀県ヨットハーバーで開催される大会への参加者
- ・佐賀県が指定した者
- ・その他佐賀県ヨットハーバーが妥当と認めた者

※水施設は減免の対象とはなりません。

別紙-2

浮棧橋料金表

区分	利用単位		利用料金	
			県内在住者	その他
1号 浮棧橋	長さ5m未満の船舶	1日	1,100	1,540
		1月	13,200	18,150
	長さ5m以上7m未満の船舶	1日	1,320	1,870
		1月	15,400	21,450
	長さ7m以上9m未満の船舶	1日	1,650	2,200
		1月	17,600	24,750
	長さ9m以上11m未満の船舶	1日	1,980	2,750
		1月	22,000	30,250
2号 浮棧橋	長さ5m未満の船舶	1日	880	1,320
		1月	8,800	13,750
	長さ5m以上7m未満の船舶	1日	1,100	1,650
		1月	11,000	17,050
	長さ7m以上9m未満の船舶	1日	1,320	1,980
		1月	13,200	20,350
	長さ9m以上11m未満の船舶	1日	1,760	2,530
		1月	17,600	25,850
3号 浮棧橋	長さ5m未満の船舶	1日	880	1,320
		1月	8,800	13,750
	長さ5m以上7m未満の船舶	1日	1,100	1,650
		1月	11,000	17,050
	長さ7m以上9m未満の船舶	1日	1,320	1,980
		1月	13,200	20,350
	長さ9m以上11m未満の船舶	1日	1,760	2,530
		1月	17,600	25,850
	長さ11m以上の船舶	1日	2,310	3,300
		1月	23,100	33,550

3. 年間の事業及びスケジュール

1) スタッフに対する研修

ハーバー利用者や一般利用者の安全確保とサービス向上のため、以下の研修を実施しました。

種 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
接客研修	接客研修	開催		開催	開催									
	クレーム対応・不審者対応研修							随時開催						
	OUT研修							随時開催						
	外国語対応研修							随時開催						
安全衛生教育	新規入場者教育	開催		開催	開催									
	マリーナ安全会議							毎月実施						
	JV安全協議会							毎月実施						
	安全大会													本年度未開催
	救命技能講習													本年度未開催
	マリーナ安全管理者養成講習会													本年度未開催
テクニカル研修	海上技能研修会	開催												
	設備・技術講習会	開催												
	給油メーカー研修					開催								
災害対策訓練	災害対策訓練											開催		
	防災訓練									開催				
ノーマライゼーション研修	視覚聴覚障がい者対応研修												開催	聴覚障がい者のハーバー利用についての確認
	障がい者スポーツ講習会							随時開催						JSAF障がい者セーリング推進委員会とコミュニケーションをとる
	補助犬ガイド士養成講座													本年度未開催
コンプライアンス研修	コンプライアンス教育	開催		開催	開催									運営開始時と新規入場時に実施 ・スポーツ指導者へ向けた研修を実施
	コンプライアンス週刊													本年度未開催
協力会社教育	警備員研修							随時開催						警備員の配置はないため宿直スタッフ根拠実施
	清掃員教育	開催												
	提案型事業スタッフ							随時開催						提案型事業協力会社だけでなく教育プログラム協力会社にも実施

2) 施設情報等の発信

本施設の利用促進のために、ホームページリニューアル及びスマートフォンを活用したSNS発信強化を図り、佐賀県ヨットハーバーの魅力と海洋性スポーツ・レクリエーションの楽しさを積極的に発信した。効果として、地元や教育プログラムの海洋体験が増えた。

《ホームページ》



《Instagram》



3) 利用者サービスの向上

利用者および地域の要望を運営に反映するため、図表-1のようなニーズの高いサービスを展開し、利用者満足度の高い運営を行って参りました。

図表-1

種 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ニーズの高い新たなサービス	お客様要望室(要望対応担当)の設置	運用中												
	ライブカメラの設置	運用中												
	早朝出航者向け予約対応サービス	運用中												
	気象海況情報のWEB/テレフォンサービス	運用中												
	キャッシュレスサービス	国スポ・KMAP整備後運用検討						KMAPでの運用を検討						※国スポ後KMAPでの調整
	船具庫(船具用ロッカースペース)の増設	国スポ・KMAP整備後運用検討						検討中						※関連団体との調整による
	カート付き自転車の貸し出し	※安全上カートに変更し準備中						運用開始						※安全上カートに変更し実施
	業界関連団体の拠点事務所の設置	国スポ・KMAP整備後運用検討						検討中						※関連団体との調整による
	キッチンカー、マルシェ、朝市の開催				開催									※KMAP(Grand Blue 2024開催)
誰もが利用しやすい施設運営	海の駅	運用中												
	カルチャースクール誘致	運用中												
	障がい者セーリング体験会	準備期間												※関連団体との調整による
	カフェの運営	準備期間 ※KMAPの整備及びSAGA2024(国スポ)の状況を踏まえ調整						調整中						※KMAPで調整中
	修学旅行・遠足受入れ	運用中												唐津・玄海観光交流社と連携
	夏祭り・ビアガーデン	準備期間 ※KMAPの整備及びSAGA2024(国スポ)の状況を踏まえ調整						調整中						※地域との調整による
	民泊・観光客の受入れ	準備期間 ※KMAPの整備及びSAGA2024(国スポ)の状況を踏まえ調整						調整中						※KMAP・国スポとの調整による
	コワーキングスペース	準備期間						運用開始						※KMAP・国スポとの調整による
	団体強化選手をサポート	サポート												
海洋性スポーツ・レクリエーションの振興 KMAPとの連携	ヨットハーバーフェスティバル				開催									
	唐津ビーチパーク	KMAPとの調整												※KMAPコンテンツと重複のため協議
	SAGAこども海洋塾	開催												
	シニア/ジュニアヨット教室	開催												
	SUP/シーカヤック/ハンザ体験会	開催												唐津・玄海観光交流社と連携
	ウィンドサーフィンスクール	開催												
	船舶免許教室	開催												
	ビーチクリーン	開催												
	唐津城クルージング	開催												開催
シーサイドマルシェ														

※お客様要望室（要望対応担当）の設置について説明
計画書記載の通り、日々の業務で得たお客様の要望や、地域の方・関係者の方からの報告に対して計画的に遂行する要望対応担当の設置であるため、ハーバー建物内に専用の部屋を設置するという意味ではありません。

4) 海洋性スポーツ・レクリエーションの振興

海洋性スポーツ・レクリエーションの振興のため、当JVでは以下の活動を実施しました。

◆海洋体験・ヨット体験実施状況

大会名等	開催回数	参加人数
マリンスポーツ体験（主催）		

小中学生海洋体験（主催）	
ファミリー体験（主催）	
地域こども海洋体験（主催）	
ウキウキヨット教室（協力）	
合 計	

・実施状況

実施月日		件 名	申込者数	参加人数
4 月	25 日	マリンスポーツ体験		
5 月	3 日	ファミリー体験		
	8 日	マリンスポーツ体験		
	14 日	マリンスポーツ体験		
	20 日	小中学生海洋体験		
	22 日	小中学生海洋体験		
	23 日	小中学生海洋体験		
6 月	2 日	ウキウキヨット教室		
	6 日	ファミリー体験		
	6 日	小中学生海洋体験		
	7 日	小中学生海洋体験		
	14 日	マリンスポーツ体験		
	19 日	小中学生海洋体験		
	21 日	小中学生海洋体験		
7 月	5 日	小中学生海洋体験		
	11 日	小中学生海洋体験		
	12 日	小中学生海洋体験		
	27 日	マリンスポーツ体験		
	27 日	小中学生海洋体験		
8 月	1 日	マリンスポーツ体験		
	7 日	地域こども海洋体験		
	12 日	ウキウキヨット教室		
	18 日	地域こども海洋体験		
10 月	10 日	小中学生海洋体験		
	16 日	小中学生海洋体験		
合 計				

◆海技免許（協力）

教 室 名 等			開催回数	参加人数
5 月	23 日	ボート免許教室	1	2
6 月	24 日	ボート免許教室	1	2
7 月	29 日	ボート免許教室	1	2
9 月	22 日	ボート免許教室	1	2
10 月	4 日	ボート免許教室	1	2
	13 日	ボート免許教室	1	2
3 月	3 日	ボート免許教室	1	2
	5 日	ボート免許教室	1	2
	6 日	ボート免許教室	1	2
	7 日	ボート免許教室	1	2
合 計			10	20

◆その他

実施日		行事名	参加人数
6 月	24 日	消防署救助訓練（協力）	17
7 月	4 日	海上保安庁水上バイク訓練（協力）	19
	6 日	アスリートフード研修（協力）	21
	7 日	コンプライアンス研修（協力）	10
	21 日	レースマネジメント研修（協力）	25
	21 日	日赤研修（協力）	16
	29 日	アンチドーピング研修（協力）	13
8 月	9 日	トライアスロン練習会（協力）	13
	17 日	ルール講習会（協力）	35
	18 日	遊食くらぶ鳥島清掃活動（協力）	25
10 月	12 日	遊食くらぶ鳥島清掃活動（協力）	8
11 月	16 日～17 日	JSAF チャレンジ唐津（協力）	94
1 月	12 日	お餅つき会（主催）	53
	18 日	Kmap ワークショップ（協力）	30

3 月	1 日～2 日	九州ヨット協会連絡協議会（協力）	60
	15 日～16 日	ジェットスキー練習会（協力）	16
合 計			455

◆ヨットレース開催状況（協力）

実施日	件 名	開催回数	参加人数
5 月 4 日 ～6 日	西日本ジュニアユースセーリング選手権	1	360
5 月 24 日 ～26 日	佐賀県県高校総体ヨット競技大会	1	150
6 月 1 日 ～2 日	セーリングスピリッツ級、国スポウインドサーフィン級九州選手権大会	1	51
6 月 14 日 ～16 日	令和 6 年度全九州高等学校体育大会 第 52 回全九州高等学校ヨット競技大会兼全国高等学校総合体育大会ヨット競技九州地区予選会	1	426
8 月 3 日 ～4 日	SAGA MIRAI CAP 2024（主催）	1	154
9 月 23 日 ～10 月 1 日	SAGA 2024 国民スポーツ大会セーリング競技	1	11,005
12 月 8 日	新人戦	1	35
合 計		7	12,181

◆強化練習会（協力）

実施日	件 名	参加人数
4 月 19 日～21 日	高校生強化練習会	29
5 月 17 日～19 日	高校生強化練習会	32
6 月 13 日～16 日	高校生強化練習会	60
7 月 13 日～15 日	高校生強化練習会	40
9 月 1 日	高校生強化練習会	8
合 計		169

◇その他宿泊

実施日	件 名	参加人数
6月13日～16日	中村学園三陽高等学校強化合宿	14
7月20日～21日	鹿児島県連強化合宿	16
7月27日～28日	トライアスロン練習会	14
8月2日～4日	鹿児島大学ウインドサーフィン部合宿	60
10月6日	トライアスロン練習会	14
10月12日～14日	宮崎、佐賀大学医学部ヨット部合宿	57
合 計		175

5) S S P構想の推進

佐賀県ヨットハーバーは、ヨット競技におけるS S P構想の拠点として位置付けられているため、以下の取り組みを実施して参りました。

①ヨット競技強化に向けた人員配置

佐賀県のヨット競技強化とS S P構想推進のため、日本セーリング連盟の理事として長年セーリング業界に貢献をしてきた「XXXXXXXXXX」を常駐アドバイザーとして配置し、ヨット競技者の強化だけでなく、佐賀県ヨット連盟・唐津市ヨット連盟や佐賀県スポーツ協会との連携を図りS S P構想を推進してまいりました。

②ジュニアアスリートの育成

佐賀から世界に挑戦するトップアスリートを育成するS S P構想に共感し、スポーツ文化の裾野を広げる事業に協力した。その中で、「スポーツの振興」と「児童生徒等の健康の保持増進」を図る組織「JAPAN SPORT COUNCIL」（日本スポーツ振興センター）による地域タレントの「ワールドクラス・パスウェイ・ネットワーク」加盟し、ジュニアアスリートの育成を推進した。



6) 競技力向上に向けたヨット競技団体への協力・支援等

競技力向上のためヨット競技団体への協力・支援および連携を図りました。

① 佐賀県ヨット連盟への協力・支援

セーリング競技の強化のためジュニアから国スポ種目などの各種大会を受け入れ、佐賀県ヨット連盟への協力を実施した。

協力内容：早朝開場、会場設営応援（重機操作運搬等）、競技ヨットの曳航やレスキュー
陸上本部対応（無線傍受・本部への連絡）、コピー貸出、荷物・弁当預かり等

②関連団体・学校との連携や協力

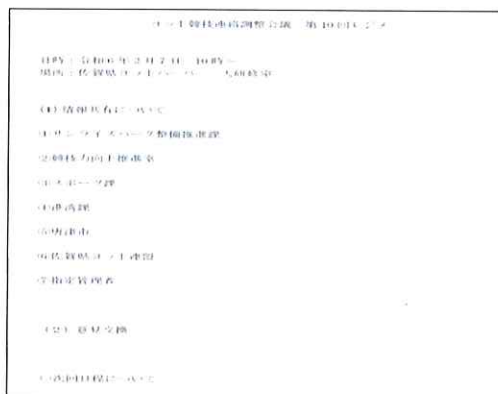
佐賀県ヨット連盟や唐津市ヨット連盟のほか、佐賀県高等学校体育連盟など学校関係の団体にも積極的に連携・協力し、競技役員の派遣等を実施しました。

ヨットクラブ	玄海セーリングクラブ 玄海セーリングジュニアクラブ B&G虹の松原海洋クラブ
大学ヨット部	佐賀大学
高校ヨット部	唐津東高等学校 唐津西高等学校 唐津工業高等学校 早稲田佐賀高等学校



7) SAGA 2024 への協力

SAGA 2024（国スポ・全障スポーツ）セーリング強化選手のサポートと、佐賀県スポーツ協会／唐津市スポーツ協会及びSSP推進局との綿密な連携を図るため、ヨット競技連絡会へ参加し、佐賀県のヨットハーバーとしてSAGA 2024 への協力を行いました。



8) 地域との連携と利用促進

佐賀県ヨットハーバーが広く県民や地域に受け入れられ利用促進を図るため、佐賀県・唐津市・地域住民・企業・学校・地域団体など多様な主体との連携を図り、ヨットハーバーと周辺地域の活性化に繋がるよう以下の活動を実施しました。

連携する団体	方向性
唐津里浜づくり推進協議会	唐津海浜地域の防犯・美化活動・イベントを通じた地域の活性化の取り組み
唐津市商工会・唐津市青年会議所	積極的な会合への出席による意見要望の収集、相互的なイベントの協力
佐賀県ヨット連盟／唐津市ヨット連盟	地域の子供たちへのヨット教室の共同開催、SAGA2024 への協力
唐津市漁港／佐賀玄海漁業協同組合	航行の安全への協力
トライアスロンなど他競技団体	ヨットハーバー施設の利用促進と佐賀県のスポーツ振興

9) 建築物及び設備等の保守管理

佐賀県ヨットハーバー利用者の安全と施設や設備の機能保全のため、以下の施設管理を実施しました。

表-4 《施設維持管理業務実施一覧表》

業務内容	委託先	計画	実 施 月												備 考
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
日常清掃	総合施設 メンテナンス	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10~13日/月、 年間144日
		実績	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
定期床（全階）清掃		予定		○			○				○			○	年4回
		実績		●			●				●			●	
窓清掃		予定					○				○				年2回
		実績					●				●				
空調定期点検整備		予定		○		○		○		○			○		年5回 フィルター4回
		実績		●		●		●		●			●		
給湯ボイラー点検整備		予定				○							○		年2回
		実績				●							●		
貯水槽清掃		予定								○					年1回
		実績								●					
消防設備保守点検		予定						○						○	総合1回 外観1回
		実績						●						●	
電気保安管理点検	電気保安協会	予定	○		○		○		○		○		○	隔月	
	実績	●		●		●		●		●		●			
施設警備・巡廻	西九州警備保障	予定	開場時間以外常時機械警備												機械警備
		実績	開場時間以外常時機械警備												
昇降機保守点検	三菱エレベーター	予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・リモート点検毎月 ・定期検査年1回(6月) ・定期点検年3回(4月,9月,12月)
		実績	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
浄化槽保守点検	環境技研	予定						○					○	年 2 回	
		実績						●					●		
一般廃棄物収集	西村セービング・アース	予定	週3回定期回収												定期
		実績	週3回定期回収												定期
浮桟橋点検	唐津土建工業	予定						○						○	年 2 回
		実績						●						●	

4. 提案型事業について

1) 利用者増につながる取組み

海洋性スポーツ・レクリエーションの振興とハーバーの利用者増の取組みとして以下の取組みを実施しました。



《地元小中学校海洋体験》



《SUP 体験》



《カヤック体験》



《ハンザ体験》

2) 海の駅の取組み

魅力ある「さが 海の駅」として、シャワーや休憩利用だけでなく利用者へのサービス向上のためマリニョップを展開し、多彩なサービスの提供と新たな魅力を積極的にアピールしました。



Instagram



3) KMAPとの連携

佐賀県の唐津が誇る自然や観光資源を活かしたマリナクティビティ普及の取り組み「KMAP」事業を推進するため、佐賀県政策部 MIGAKI 担当と連携を図りアクティビティを提供しました。

① KMAP のフラッグシップ唐津城をブランドとした「Castle Bay」



② KMAP 総合受付の設置

佐賀県ヨットハーバー内に KMAP 総合受付を設置し、予約受付とマリナクティビティ体験の機材レンタルや準備・インストラクター手配・警戒艇配置・マリナショップ整備などを進めました。



③ 観光協会等との連携

唐津を拠点とした KMAP を含めた教育旅行プログラム（歴史・文化・体験）と連携するため、唐津市観光協会へ入会し、情報収集および海洋体験コンテンツの提供と、教育旅行誘致、観光・海洋性スポーツ・レクリエーションの普及を図っております。